

ふるさと 通信員だより

vol.205

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



光和地区の株式会社イソカワファーム代表の五十川賢治さん（47）は、妻の裕子さん（53）と連名で同共励会の全国米麦改良協会会長賞（農家の部）を受賞しました。この賞は、高い生産技術や創意工夫など他の模範となる生産者に贈られる賞で、五十川さんの取り組みが高く評価されました。連作を避けるため小麦耕作面積約50分の20%への休閑緑肥で地力の維持や8月末に播種時期を工夫するなど、収量や品質の向上に努力。「25年前から地域一丸で土地改良整備を行ってきたことが結果につながった」と五十川さん。道麦作共励会の最優秀賞・道知事賞も受賞し、今後のさらなる品質向上に意欲を見せていました。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

全国麦作共励会で 表彰の五十川さん



8月の園開放では、7組8人の親子が参加し、風鈴づくりと園児との交流を目的とした水遊びを楽しみました。毎月実施予定の園開放では、季節柄の題材で工作したり、園児と交流ができる遊びを取り入れられます。参加した保護者の一人は「園児との交流もできて良かった」と話をしてくれました。



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

園開放で 園児と交流